

清川村教育委員会会議録

日 時 令和3年11月25日(木) 午前9時から10時40分
場 所 せせらぎ館3階 研修室
出席委員等 教育長 山田一夫、職務代理者 今野郁夫、委員 加藤しのぶ、
委員 橋本直人 委員 山田比呂美
事務局(井川参事兼指導主事、相原学校教育課長、南波指導主事
井上副主幹)

議事日程

1. 開会
2. 山田比呂美 教育委員就任あいさつ
3. 今野郁夫 教育長職務代理者就任あいさつ
4. 加藤しのぶ 教育委員文部科学大臣表彰受賞のあいさつ
5. 教育長あいさつ
6. 案件
 - (1) 前回会議録の承認について
 - (2) 教育長の報告
 - (3) 議案第14号 夜間中学校に関する三者協定の締結について
 - (4) 幼少中一貫校推進事業の進捗状況について
 - (5) その他
7. 次回の会議日程
8. 閉会

開会(午前9時)

教育長あいさつ

前教育委員の石川富美子 委員がご退任され、山田比呂美 委員が就任され岩澤村長から辞令をいただきました。また、併せて今野郁夫委員を教育長職務代理者として指名しましたので、よろしくお願ひします。加藤しのぶ委員は平成16年の4月に就任され、5期目に入っています。村の教育行政に長年にわたりご尽力いただき、大変ありがたいと思います。また、国からの表彰も長年の功績が評価されたものと思います。これからもよろしくお願ひします。

小学校の修学旅行も無事終わり、コロナ禍でありましたが、村のすべての小中学校が修学旅行に行けました。近隣の学校では、中止にしているところもあるので、実施できて良かったです。これから中学校3年生は進路に向け

て、必死に追い込みに入ります。子どもたちにいろいろな面で声をかけていただくとありがたいです。

社会教育では県の巡回による文化財保護ポスター展を行いました。素晴らしい作品が展示されていまして、中学生にも見せたいと思いました。そのためのタイムリーな方法を考えています。

運動公園に健康器具、遊具を設置していますが、今年度も増設をします。筋力や調整力を養うことができます。大人も子どもも楽しめる器具が入ると思います。

教育が早いスピードで動いています。その中で「村の子どもたちに何を的確にやっていくのか、何が必要なのか。」は大切なことです。そこについてもアンテナを張っていただき、意見をいただくとありがたいと思います。今日はよろしく申し上げます。

案件（１）前回会議録の承認について

◎ 別紙「資料１」会議録（案）のとおり、承認されました。

案件（２）教育長の報告

◎ 教育長から別紙「資料２」により、教育長の動向について報告をしました。

*質疑なし

案件（３）議案第 14 号 夜間中学校に関する三者協定の締結について

◎ 事務局から別紙「資料３」により「夜間中学校に関する三者協定の締結について」について説明をしました。

委員 協定を結んだ市町は 10 自治体程と言われましたが、どこでしょうか。
事務局 詳細は分かりませんが、県央地区でもすでに協定を結んでいる自治体があると聞いています。

委員 村の入学者が増えた時の費用負担が心配です。また、夜間中学の今後の見通しはどうでしょうか。

事務局 法律では、すべての市町村に必要な方が夜間中学校に通える状況をつくるように求めています。村では単独設置が無理なので、相模原市と協定を結び広域連携で相模原市の設置する夜間中学校に入学させて頂く方向で考えています。また、費用負担は、生徒数に応じた負担となり、これは致し方のないことだと考えています。

しかし、入学希望者の誰もが入学できるわけではなく、事前に面談等を行い、その必要性を判断したうえで入学させるため、それほど多くの方が

入学しないと思います。そのため学校の定員も30名と少ない募集になっています。夜間中学より夜間高校の方が、今後も圧倒的にニーズも定員も多い状態が続くと思います。

◎ 審議の結果、異議なしで、原案のとおり承認されました。

案件（４）幼少中一貫校推進事業の進捗状況について

◎ 事務局から別紙「資料４」により「幼少中一貫校推進事業の進捗状況について」説明をしました。

委員 事務局からの報告では、教職員等で組織する「幼小中一貫校教育推進部会」やPTA代表、保育園の保護者、学識経験者、自治会長等で構成される「幼小中一貫校施設整備検討委員会」を立ち上げたとの報告があり、今後は、幼小中一貫校基本構想を策定することでした。基本構想を策定する上で重要なことは、意見をどう取り入れていくのかということではないでしょうか。事務局からは、パブリックコメントを活用することでしたが、あまり意見が出てこないという現状があるので、そのことも考えていかななくてはいけないと思います。住民がどんな学校を作りたいのかを提案していく段階に来ています。住民が一つ一つきちんと考えてどんな学校を作りたいかを提案することが大事です。

また、コミュニティスクールをどう関係づけるか。私の住んでいる地区では、「こういう学校があったらいい」という意見を出して行きたいです。学校のカリキュラムや先生方の提案部分については、さわりづらいですが、どういう学校が良いのかという学校施設のところだけでもPTAに提示しても良いと思います。

事務局 各学校、幼稚園、保育園のPTAや保護者の方に幅広く検討委員を委嘱しています。委員が所属団体からの意見を集約し、出してもらうのが理想的です。

また、基本構想を策定するにあたり、設計会社に委託して検討委員会の会議を進めるという案もありましたが、それでは村の独自性や特色が出しづらいので基本構想は教育委員会が直営で策定することになりました。

基本構想は、次のステップの基本計画を作る大枠です。基本計画、基本設計、実施設計は、(皆さんの意見を聞きながら)設計会社に策定(設計)委託することになると思います。

最初に戻りますが、理想は各団体の方が、所属団体の意見を集約して意見を出してもらうのが理想です。

検討委員会議では、委員に意見を12月24日までに提出していただく

ようお願ひしていますが、期限的に厳しければ1月の会議に提出してもらっても良いと思っています。今後は各委員とメール等で密に連携していこうと思います。

事務局 コミュニティスクールをどう組み込むのかということは、大事なことです。検討委員の方は、各団体の代表の方です。中にはコミュニティスクールの方も参加していますので、コミュニティスクールからの意見も集約し、出してもらって構いません。

各団体から呼んでもらえれば事務局で伺って説明してもよいと思っています。

委員 昨日の検討委員会議で保育園の保護者から質問があったそうですが、保育園は一貫校に入っていない。同じ敷地内に保育園もという話しをされていましたが、認定こども園は無理ですか。

事務局 認定こども園は以前から研究をしています。0～2歳を保育園で4～6歳を幼稚園と一緒にすることは可能です。しかし、そうなると保育園を村で運営することになり、職員の配置など運営上に問題があります。子ども庁ができて、もっと柔軟な対応ができれば、そういうことも考えられます。

今のところ村主体で運営するには課題が多くあります。

委員 幼稚園と保育園の教育がつながるのが、清川村らしさの教育の柱であると感じていますので、保育園だけ別になると、どういう感覚で受け取られるかと思いました。このことも今後検討をお願いします。

議長 幼保小中一貫校なら良いのですが、保育園の経営は民間ですので、簡単にはいきません。しかし、保育園の子どもたちも、いずれは村の小学校に入学するので、そのことも踏まえてよく研究していきたいと思います。

それからコミュニティスクール、これからの学校は地域の学校です。地域の方が学校に入っていないと上手く行かないこともあります。地域学校協働本部を作り、コーディネーターが学校とのやり取りを行います。学校は、防災の拠点でもありますので、そのことを含めて色々なことを考え、色々な意見を取り入れながら、スピード感を持って、一つ一つ進めていきたいと思っています。検討委員会も年度内にあと2回はやりたいと考えています。

委員 検討していく上で、自分の子や孫が通うことになる当事者の方が、きちんと意見を言うことが大切です。検討部会で学校の先生方からの専門的な知見を出してもらうことも大切ですが、当事者の意見を聞くことも促進して欲しいものです。

事務局 意見の集約の仕方については色々な意見をもらっています。皆さんの

意見をよく聞いて作っていきたいので、そこは、検討していきます。

また、資料のスケジュールに年度を記載していないのは、住民説明会ができていないからです。住民の方のコンセンサスを得るような手順を踏んだ上で、年次スケジュールを出したいと考えています。

案件（５）その他

◎ 事務局から別紙「資料５」により「令和３年１２月・令和４年１月分行事予定」について説明をしました。

◎ 事務局から「清川村コミュニティスクール研修会」について報告をしました。

次回の会議日程

◎ 次回の教育委員会会議は、調整した結果、令和３年１２月２１日（火）午前９時からで決定しました。（本庁舎３階 第２・３会議室）

閉会

職務代理者 閉会宣言（午前１０時４０分）

令和３年１２月２１日

教 育 長

山田 一夫

教育長職務代理者

今野 郁夫

委 員

加藤 しのぶ

委 員

橋本 直人

委 員

山田 比呂美

